広報
ほうじょう

町の人口
（11月1日現在）

人口	7,898人
男	3,801人
女	4,097人
世帯数	2,307戸

鯉とり大会

弁城小学校

子どもたち待望の鯉とり大会を、ことしも快晴に恵まれた。十月二十九日(土)に実施した。

全校児童一四九名が、どろんこになって、喜々として鯉をつかみどりする様は壮観の中にも、ほほえましく楽しいものである。

この鯉とり大会は、昨年度から、はじめたものであるが、新町水利組合から、内屋敷池を提供していただき、弁城区とPTAのご援助を得て実施の運びとなったものである。

最近の子どもたちは、ともすれば家の中に閉じこもり、テレビやマンガに熱中しがちであるが、この子どもたちに求められていることは、もっと太陽の光を全身に浴びて、汗とどろにまみれ、力いっぱいとびまわる子ども本来の姿ではなかろうか。

青空の下、どろんこになって、池の中を、とびまわり、はいまわり、鯉とりに熱中する姿こそ、とかく忘れがちな、自然の中に、どんぶりとつかった、土のにおいのする手造りの教育の一面ではなかろうか。

現在の子どもたちに、こうした自然にとけこむ体験をさせることにより、もっとたくましい生活態度を育てることが望まれるのではなかろうか。

鯉とり大会の感想を、子どもたちは、次のように作文にしているのでご一続いただきたいものである。

こいとり大会

弁城小学校三年　香月　礼

十月二十九日土曜に、野地のつつみでこいとり大会をした。

ぼろふく、ぼろぐつ、入れもの、なんかをじゅんびして、コイのことを考えながら、学校に来た。

くつは、ゴムで、ぴっちりとめているし、入っても大じょうぶだ。でも、入る時、どきどきした。

入ってもいいふえが鳴ると、うれしくてとび出したでもドブドブで、ゴムはなくなるいっぽうだ。

入るとすぐ、赤いコイが泳いで来たので、うれしくて思いきって、しっぽをつかむと、ピチピチと元気にはねた。全ぶで黒いフナ六ピキ、色ごい五ひきもつかまえてうれしかった。そのうち、ドロ水の中にはまりこんで、「たすけてー。」と、さけぶと、よし子ちゃんが、おもしろそうにわらった。とてもゆかいだった水の上にころんだりはまりこんだり、五年生が、しょっかんをもって、わたしの前に出した。わたしは、かえるがきらいなので、「キャー」と言って、目がくらくらしてドロ水の中を後ろ向にたおれた。でもそんなことが一番楽しかった。一番うれしいことは、三年四年のコイが一番多かったことだ。四つのたらいに、いっぱいこっぱい。その中からわたしは、コイ二ひき、フナ一ぴきをもらった。おねえちゃんは、五ひきで、全ぶで八ひきもなってうれしかった。今日は、すごくどろんこになったけど、本当に楽しかった。

帰りは、おねえちゃんがコイをもって帰ってくれて、たすかった。

鯉とり大会

弁城小学校六年　永末　祝子

十月二十九日土曜日、待ちに待った、鯉とり大会。空は青々として快晴にめぐまれ、ほんとにいい日よりだった。

学校を出発し、内屋敷つつみへと進んだ。行きがけみんな、うれしくて早足で歩く子さえいた。

つつみに着き、上から見おろした。

つつみは、水もほとんどひいていて、水は少ししかはいっていなかった。

また、鯉やふなが飛びはねる姿が時々見られた。

私達、六年生は一年生とはいることになった。

ピストルがなり、みんないっせいに走っていった。水は引いていたが、困ったことに足を一歩ふみ入れるとズズッとはいりこんでしまう。

また、カエルやザリガニが至る所にいて、ふまないように歩かなければいけないので行くだけでも大へんだった。

水の中に入いると、色鯉やふなが、くるったように泳ぎだした。

それに、すぐそばを泳いでいるので簡単に取れるのでとても楽しい。

でも、それかと思うと、鯉が元気がありすぎてつかまえたかと思うと、バタバタと手からにげてしまう。

どろんこになりながらも楽しい鯉とり大会だった。

いつまでも、心に残るいい思い出になった。

十二月のこよみ

1日、歳末たすけあい運動（31日まで）★年末年始の防犯運動（1月31日まで）
4日、人権デー（10日まで＝人権週間）
7日、大雪
10日、世界人権デー
15日、年末年始海上犯罪一斉取締り（1月14日まで）年末年始食品等一斉取締り（1月14日まで）
22日冬至

青少年を健やかに育てよう

あなたの老後は大丈夫ですか!!

国民年金はこのような制度です。

現在、わが国には8種類の公的年金制度がありますが、中でも国民年金は厚生年金とともに代表的な年金制度で皆さんとは最も身近かな関係にあります。

加入資格

国民年金は主に農林漁業商業などの自営業者や、サービス業などに従事している20才から59才までの人を加入対象（強制加入）としていますが、サラリーマンの奥さんや大学生のほか、他の年金制度から年金が受けられる人なども希望により加入（任意加入）することができます。

保険料　免除　追納

国民年金の保険料は月額2200円ですが、より高い年金を希望される人は付加保険料（月額400円）を納めることができます。又、生活扶助を受けている人等は保険料が免除されますし、その他、納付困難な人も保険料免除の申請をすることができます。なお、保険料の免除は年金額の計算上不利（納めた場合の$\frac{1}{3}$に減額）になることから、この免除を受けたときから10年以内であれば、免除当時の保険料額で追納が認められています。

納付

国民年金に加入した人が歳をとったり、途中で障害者になったり、母子家庭になったときなど年金が支給されますが、その種類と年金額などは次のとおりです。国民年金に加入している人は1807人、国民年金を受けている人は拠出制235人、福祉年金586人です。

給付の種類等		年金額
老齢年金	65歳から支給	25年納付の場合 426,700円
通算老齢年金	65歳から支給	納付期間に応じて
障害年金	病気やけがで障害者になったとき支給	1級 541,500円 2級 433,200円
母子年金	夫と死別した妻に18歳未満の子がいるとき支給	子が1人の場合 433,200円
準母子年金	生計の中心者である男子が死亡し、女子と18歳未満の弟妹孫などがいるとき支給	〃 433,200円
遺児年金	父母と死別した18歳未満の子に支給	〃 433,200円
寡婦年金	老齢年金を受ける前きに夫が死亡した妻に支給（60～64歳まで）	夫の老齢年金額の$\frac{1}{2}$
死亡一時金	保険料を3年以上納めた人が死亡したときその遺族に支給	納めていた期間に応じ 23,000円～52,000円まで

ご注意ください

「国民年金に加入しなくても70歳から福祉年金が受けられる」と誤解されている人もありますが、明治44年4月2日以降に生れた人には老齢福祉年金は支給されません。国民年金に加入しなければいけない人で、また加入されていない人は年金のないさみしい老後を迎えることになります。国民年金には、事業主の責任として一日も早く加入されますようお願いします。

なお、雇用保険の加入については、労働保険事務組合に事務委託すると便利ですが、加入手続き等詳細なことは最寄りの公共職業安定所にご相談ください。

福岡県労働部
雇用保険課

ご存じですか　雇用保険制度を

雇用保険法は、従来の失業保険法に代って昭和五十年四月一日新しく制定された法律です。この制度は、最近、若年労働者が不足し社会全体が高年令化していることや、また、社会の経済が低成長時代に入ったことなどともあわせ、これからの新しい時代の雇用失業問題に対してあらゆる施策を講じられるよう、総合的な機能を備えた制度です。

雇用保険制度の主な特徴とその内容

㈠、全産業への適用＝農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する企業はすべて雇用保険に加入しなければならなくなります。

㈡、高年令労働者に対する保険料の免除＝毎年四月一月現在で六〇才以上の労働者については、雇用保険料の自己負担分及び事業主負担分ともに免除されます。

㈢、失業補償機能の充実。強化＝失業給付について低所得者、中高年令者、心身障害等の、真に対策を必要とする人々に各種の手厚い措置が講じられます。

㈣、このほか、景気の変動や産業講造の改善等に伴って発生する失業を予防するための雇用安定事業をはじめ、労働者の能力開発及び雇用福祉のための事業も行います。最近の深刻な経済情勢のもとで、零細企業に雇用される労働者に漏れなく法を適用し、雇用の安定と失業時の保障によって労働者が安心して働けるよう、雇用保険の完全加入の早期実現をめざしております。

本制度も発足以来満二年を経過しましたが、まだ雇用保険に加入されていない企業におかれては、事業主の責任として一日も早く加入されますようお願いします。

清掃事業についてお願い

廃棄物の処理（し尿・ゴミ）の収集については、平素から住民の皆様のご協力で、特にゴミの分別収集（燃えるゴミ、燃えないゴミの区分）及びし尿の収集計画に当りましては、各家庭における主婦の方はもちろん、住民各位の絶大なるご協力とご理解により、処理上の効果を一層高めていることを、心から感謝申し上げます。

次のことにつきましては特に今後とも格別のご協力方よろしくお願いします。

㈠ゴミの不法投棄防止について

家屋の増改築、鉱害復旧などで生じた廃棄材料等を、各家庭や施行業者で処理される場合は、下田川塵介清掃センター利用証を住民課で発行していますのでご利用して下さい。

◎河川やあき地・山林などに無断で捨てないようにしましょう。

㈡し尿の収集について

し尿の収集計画は、各家庭の人数、便槽の大小・構造上の相違などにより、合理的な収集計画の立案が、非常に困難であり、又これが起因したトラブルも少なくありません。

最近の苦情の原因を大別しますと、

(1)収集料金に対する不審感

(2)業者の収集についての態度（すぐに来てくれない等）

(3)一部住民の職業偏見

このことについて、町長議会議員、業者の度々の会合により、改善の努力を続けてきましたが、今後もより一層の努力を継続して、住民各位のご要望に応えたいと思います。

◎収集予定日より早めに予約をしましょう。

最近各家庭の便器、便槽の改良化によって、使用時及び掃除時に水を多く使用する傾向があります。くみ取りに際しては、この点について、一応一人一ケ月36ℓ（二〇〇円）という基準量がありますので、各ご家庭の事情をご勘案のうえ、収集事業にご協力方お願いします。

◎検量には必ず立合いましょう。

なお、料金について不審な点がありましたら、次の資料を電話か窓口までお持ちくだされば、その内容を検討し、不明なことがあれば、係より業者に照会します。

1 料金領収証
2 料金の対応期間
3 人数
4 便槽の構造
5 水の使用量
6 雨水の浸透の有無

以上につきまして、住民各位のご協力をお願いし、清掃事業の円滑化を推進したいと思います。

ブラジル～方城町

52年ぶりの故郷へ

伊方古門出身の池永カズエさん65才が、52年ぶりにブラジルから、長女の幸子さん40才も初めて故郷の土を踏みました。一緒に堀田作太郎さん69才、奥さんのシズエさん68才夫婦も、21年振りに、2家族4人が里帰りされ久しぶりに見る日本の姿を、また方城町の変移と発展に驚きながら懐しそうにながめていました。

池永さん、堀田さんたちは、ブラジルサンパウロ州ソロカバ市に在住され、池永さんは2人家族で現在、長女の幸子さんが、同市では初めての日本女性第一号としての歯科医をされています。堀田さん一家は、5人家族で同市で家具商をなさされています。池永カズエさんは、ブラジルで生まれ2才の時に祖父母のおられる方城町に転居し、15才まで在住し、再度ブラジルに行かれました。長女の幸子さんは、全然日本を知らず今回初めての里帰りですが方城弁そのままで話しますが、字はちょっとにがてのようです。池永さん一家は戦時中に、敵国人ということでしょう。いろいろな迫害を受け、相当苦労をされたようです。

堀田さん一家は、昭和31年にブラジルに移住されたそうです。日本の印象は「一言では、非常にぜいたくすぎる」と、これは方城町でも同じ言葉が返ってきました。方城町の印象は「非常に町全体がきれいになっている。道路が整備されているのが目に付く。」特に「農家に牛馬がいないのは淋しい感じで、この狭い農地で農機具依存は、ぜいたくな気がする」との事でした。ブラジルは、日本より約10年位い遅れているそうです。若い人で意志が強く体の丈夫なかたは、ブラジルには、かっこうの働く場所がたくさんあるそうです

約2ケ月の日本滞在でしたが、数10年ぶりに、初めて見る日本の美しい自然や人情に接し、「祖国は素晴しい、帰ってきてほんとうによかったと思います…」と、方城町の発展を祈り、皆さま方の数々のご厚誼に深く感謝しながら、日本を離れ、一路ブラジルへ…、

なお、在郷中いただきましたご餞別は、ソロカバ市の福祉施設に寄付をさせていただきますと言っておられました。

方城町文化財について

現在方城町の県指定文化財としては史跡に弁城屋敷（まがいぼしのやかたやしき）の「磨崖梵字曼荼羅（まかだら）」、伊方鶴ケ丘の「伊方の古墳」天然記念物に弁城迫の「定禅寺の藤」新町岩屋神社境内にある「キンモクセイ」などがあり、これらのものは既に県の指定文化財として保護を受けていますが、町内にはこのほか古墳、仏像、書画、器具、古文書等町民の所持しているもので文化財として保護する必要のあるものがあるかと思います。

これらについては先般、昭和五十一年八月に町条例が制定され皆さんの要請があれば方城町文化財保護委員会、または左記の文化財専門委員さんまでご連絡ください。

方城町文化財専門委員

光井玄吉（八幡町）
福田辰男（中古門町）
植田辰生（新町）
仲村松吉（東古門町）
（方城町教育委員会）

ゆく年くる年　みんなで防犯

――年末年始の特別警戒はじまる。――

12月は歳末大売出し、ボーナス、忘年会と経済活動が一段と活発になるため例年他の月に比べて各種の犯罪や事故が多発しています。このため警察では12月1日から正月10日まで「年末年始の特別警戒」活動期間として、警察の全機能をあげ、犯罪や事故の防止に努めることにしています。

一般の方々も犯罪や事故防止に対する理解と関心を高めていただき、明るい年末をすごして新しい年が迎えられるようご協力をお願いします。

(1)、スリ、ひったくりに注意

年末は現金目あての凶悪犯罪、混雑や銀行帰りなどをねらったスリ、ひったくりの被害が多くなります。

●、盛り場や混雑する場所へ行くときは必要以上の現金は持ち歩かないようにしましょう。

●、女性の夜間のひとり歩きや混雑する場所では、ハンドバックなどの持ち物に十分注意しましょう。

●、銀行など金融機関を利用する際にはできるだけ二人で行動するかタクシーを利用するとかして往復途中での警戒を十分にしましょう。

(2)、おでかけはひと声かけてカギかけて、屋内に侵入してドロボウする。「あき巣ねらい」や「忍び込み」など〝侵入盗〟の半数は「カギのかけ忘れ」「開け放し」「戸締りがないために被害にあっています。

●、外出や就寝時には、カギかけの点検を行い、確実な戸締りをしましょう。

●、家を留守にする場合はお隣りにひと声かけて留守を頼んでおきましょう。

(3)、〝暴力は見たら聞いたら一一〇番〟

飲酒する機会が多くなり大トラ、小トラや暴力団員のいやがらせ、けんか、たかりなどが多くなります。

●、自分の飲酒量をわきまえて、いいがかりをつけられるスキをつくらないよう

●、暴力の被害を受けたり見たり聞いたりしたときはすぐ警察へ一一〇番しましょう。

(4)、〝飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、飲ませない〟

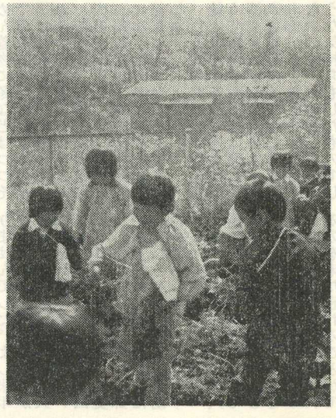
●、忘年会、クラス会などで飲酒の機会が多くなり、酒の上での事件、事故が増えています。

●、車を運転するときは、絶対に酒を飲まないことまた運転する人に酒を無理じいしないこと。

楽しい芋掘り

秋の美しい野山の自然のたくましい姿がほゝえましく見られました。

働くことの喜び楽しさを十分体験することができました。　町立中央保育所



いよいよ待望の芋掘り日とあって園児達の目は一段と輝きを増し芋が大きな顔をしてのぞかせるとパットとびつき夢中で掘る元気な中で園舎裏の畑に毎日育てあげたお芋です。

お知らせ

仲村友市さん　県知事表彰を受ける

去る九月十六日福岡県老人福祉大会記念式典に於て中古門の老人福祉連合会副会長仲村友市さんが県知事より特別老人福祉の増進に貢献された功績にたいし表彰を受けました。

これは、方城町老人福祉連合会にとりまして、本当にうれしいことです。

今後共福祉向上に御活躍下さるようお祈り申上ます

第二九回人権週間　十二月四日から十二月十日まで

人権とは、何人もこれをおかしたり、おかされたりすることのできない人として生れながらにもっている権利です。

本年度は次の三つを啓発の強調事項としています。

一、人権の共存　明るい近隣関係を築きましょう。

二、部落差別の解消　正しい認識と理解で差別をなくしましょう

三、婦人の地位向上　婦人の立場に理解を深めましょう。

特設人権相談所の開設

十二月八日、午後一時～午後三時まで、方城町福祉会館。

「納税強調月間についてお知らせ」

〝税金は納期までに納め、滞納のない、明るい町づくりにご協力下さい。〟

12月を町は納税強調の月として、納税者の皆さんに強く納税について御理解とご協力をお願い致します。

税金が納まらなければ、町のいろいろの仕事、とくにみなさんの身近な問題である、生活や健康を守り、みなさんの福祉増進のための事業も出来ぬことにもなり、ひいては、町勢の発展にも支障が生じます。

税金は、滞ることのないように、納期までには必ずお納めください。12月は納税について特に納税者の、みなさま方に納税についての御理解を願って、税金を納めてくださるよう、強くお願い致します。

かさねて納税者の方々の御理解とご協力を切にお願いするところであります。

〝税金の滞納があれば12月28日までに納めましょう〟

……税務課だより

昭和五二年度　自衛隊生徒募集要項

一、受付期間

昭和五二年一一月一日から同年一二月二三日まで

二、採用予定数

陸上自衛隊　約五二〇名
海上自衛隊　約一二〇名
航空自衛隊　約一〇〇名

三、受験資格

昭和五三年四月一日現在一五才以上一七才未満（昭和三六年四月二日から昭和三八年四月一日までに出生した者）の日本国籍を有する男子で中学校を昭和五三年三月に卒業する見込の者およびそれ以前に卒業した者

四、試験

(一)第一次試験

(ア)試験期日　昭和五三年一月五日

(イ)試験場　飯塚駐とん地（飯塚市）

(ウ)試験科目

国語、数学、社会、理科、英語および課題作文

(二)第二次試験

第一次試験の合格者について行ないます。

(ア)試験期日　昭和五三年一月一五日又は一六日

(イ)試験場　福岡駐とん地（春日市）

(ウ)試験種目　口述試験、身体検査、適性検査

願書提出及びお問い合せ先

福岡地方連絡部飯塚出張所（飯塚市横田八二〇電話飯塚②四八四七番）又は役場総務課へ

町立図書館新刊書紹介

日本のやきもの（全五冊講談社）茶花（世界文化社）世界を変えた百の出来事（全七冊インターナショナルタイムズ社）激動の半世紀（夕刊フクニチ社）日赤百年（サンケイ新聞社）（以下著者、出版社名省略）

家庭の医学全書、育児百科、発育としつけ、育児の本、一才までの育児、赤ちゃんの病気の見方、和裁全書、洋裁の実技全書、きょうの料理、華道手帳、茶道手帳、俳句鑑賞入門、俳句のつくり方、現代俳句歳時記、現代日本経済、経営者の条件、これからの日本を語る、日本をダメにした戦後教育、日本をダメにした百人、日本史年表、現代日本の部落問題、戦後部落解放運動史、先を読む眼、人を見る眼、自然治癒力を活かせ、風流大平記、幸福の限界、泥にまみれて、今日は明日の前の日、新潮記、からだノート、女の長風呂いまもむかしも愛別ばなし講座おんな（二冊）、船場の女、それでも私は結婚したい、女が外に出るとき、恋すること愛すること、女帖、花嫁の月、王貞治の日記、人間王貞治、武田信玄新撰組顚末記、井伊大老、大岡越前、平の将門、水戸黄門、源頼朝、上杉謙信、黒田如水、戦国武将の決断と実行、あゝ回天特攻隊、日本士道記、つばさの血戦読書は喜び、おみそれ社会書斎と茶の間、望郷、魔女街、影の車、天気の科学、心に革命を起こせ、北の詩人、奇蹟の雷撃隊、われら戦友たち、充たされた生活鉄の首枷、四十八才の抵抗楽天旅日記、成人医学、柳橋物語、自伝的日本海軍始末記、北の海、火の杯、エチケットの百科、かくし芸と余興の百科、ほか少年少女漫画本二十冊。

以上新らしく購入しました。皆様の御来館をお待ちします。

香典返し

ありがとうございました次の方々から方城町長寿会に高額な香典返しを受けましたので長寿会の運営に有意義につかわせていただきます。

方城町連合会長　荒川豊八

一、中古門　杉本澄義
二、犬星　岩猿勉
三、新町　永末サト子

私の歩いてきた道

第三回　末松栄

その頃の私の家には一枚の瓦も、一枚のガラスもなく戸棚もありません、馬小屋も掘立小屋で壁もワラやむしろで囲んでおりました。

おまけに台風で本屋の草葺の屋根がはがれ、雨の時等、いたるところに雨漏りがして畳もあげねばならなく本当に情ない、惨めな生活の連続でした。

学校に通学するにしても雨傘もないときが多く三尺位のネルの布を頭からかぶりはだしで走って行ったものでした。現在のような服装をした生徒は、一クラス四、五名だったと思います他の生徒はみんなパンツもなければズボンもはかずもめん着物に冬などはつっそでの上衣をひっかけて帽子等は、私達六ケ年間一回もかぶったことはありません

四年生、五年生頃には年夫君、滝三君、寅三君達と日曜日には上野村の水車屋に小麦のある時は小麦粉を替えに行ったことも度々でした。

行く除中弁城小学校の生徒とけんかをし、帰りは恐くて新町や荒迫池は通らず清水ケ谷から野地の上、樫木山越しに帰ったこともあり家のことなどよくわからないので一つの楽しみのような気持ちもしたものでした。

小麦粉を替えてくると、その頃の私の家には一枚の瓦も、一枚のガラスもなく戸棚もありません、馬小屋も掘立小屋で壁もワラやむしろで囲んでおりました。

おまけに台風で本屋の草葺の屋根がはがれ、雨の時等、いたるところに雨漏りがして畳もあげねばならなく本当に情ない、惨めな生活の連続でした。

学校に通学するにしても雨傘もないときが多く三尺位のネルの布を頭からかぶりはだしで走って行ったものでした。現在のような服装をした生徒は、一クラス四、五名だったと思います他の生徒はみんなパンツもなければズボンもはかずもめん着物に冬などはつっそでの上衣をひっかけて帽子等は、私達六ケ年間一回もかぶったことはありません

四年生、五年生頃には年夫君、滝三君、寅三君達と日曜日には上野村の水車屋に小麦のある時は小麦粉を替えに行ったことも度々でした。

行く除中弁城小学校の生徒とけんかをし、帰りは恐くて新町や荒迫池は通らず清水ケ谷から野地の上、樫木山越しに帰ったこともあり家のことなどよくわからないので一つの楽しみのような気持ちもしたものでした。

小麦粉を替えてくると、手打ちうどんや焼き団子等食べられるのでそれも一つの楽しみでした。

貧乏ではあったがその頃は友達と行き帰りに荒迫の松に登ったり、悪さをやったりして遊びながら自由気ままなふるまいが出来ました。

それは、私が一年生の時のことでした（話は前後しますが）夏休みも終って寒い冬が来ました。私はひどい凍傷にかかり足に下駄をしばりつけて通学しました

それでも三日間休校したためいかに成績がよくても欠席日数が三日以上あれば表賞の対象から除外されるとのことで非常に残念でなりませんでした。よし来年こそはと二年生になってからは一日も欠席せず修業式には晴れて一等賞をもらいました。その後、三年、四年、五年生とも連続して受賞しました。この頃から妹や弟も生れて家計もだんだん苦しくなってゆくのが幼い私にも分かるようになりました。

また、近所の親せきの人達は母に「学校等はどうでもよい子守奉公にでもだして一人でも口を少なくするがよい」等と話しているのを聞き私はほゝに涙が流れるのを未だ忘れることができません。

広報ほうじよう（95号）
昭和五十二年十二月一日発行
発行　方城町役場
編集　企画室
印刷　協和印刷